

後援会活動

★後援会清掃活動

去る5月20日、町内一斉清掃の終了後、後援会役員一同で少しでも地域貢献になれば、との思いで「体育館通り」と「県道豊田高浜線」の道路で清掃活動を行いました。今回で2回目となりました。中にはコンタクトが入った封筒も！落とし物でしょうか？交番に届けました。



「体育館通り」より「県道豊田高浜線」のゴミが多かった感じです。今後も続けて行きたいと思います。

★平成30年度後援会総会&親睦バス旅行を開催

先般、6月24日に後援会恒例の親睦バス旅行と平成30年度後援会総会が開催されました。

皆さん多数ご参加頂き、本当にありがとうございました。



園内で一緒になった他市の市議さんと談笑。これもご縁ですね！

甘くて美味しい！

総会では今年度議案を承認して頂きました。

少しでも甘いのを!!

天竜峡も絶景でした!!

今回のオマケ！

★後援会の今後の予定

- 昨年開催した松尾議員の市政報告会を10月又は11月開催に向け現在検討しております。
- 後援会忘年会は、例年通り12月28日（金）です。ご出席をお願いします。
- 初詣りにつきましては、平成31年1月を予定しております。

上記の様な催しを企画して参りますので多くの方のご参加をお願い申し上げます。

☆後援会へのお問い合わせは090-8862-5371(後援会専用携帯)

編集人 後援会広報担当 木村邦彦



夏号



この号の内容

- ご挨拶
- 議会所属委員会
- 6月議会の開催
- 主な議案
- まなきと考える
- 主な活動 3
- 後援会活動 4
- 後援会総会記事
- 今後の予定

2018 No.29

たよ
まなき便り

発行：松尾まなき後援会
連絡先
〒446-0066安城市池満町池上22-2
TEL 0566-76-8979 FAX 0566-97-1519

明るく、笑顔で安全、安心して暮らせるまちづくりを

～ご挨拶～

盛夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、皆様のあたたかいご支援とご指導に心より感謝申し上げます。昨年6月にオープンした中心市街地拠点施設アンフォーレも今年3月には、来館者が100万人を達成しましたが、中心市街地（商店街）への回遊はまだ少ないですが、今年は、安城七夕まつりも第65回の節目の年であり、5月20日には、七夕親善大使のオーディションが開催され5人の新たな親善大使が誕生しました。

今年もアンフォーレのメイン会場中心に七夕まつりが開催されますので皆さんにも足を運んでいただき、まちの賑わいを創出したいと思います。

今後も本紙まなき便りで議会活動や行政報告を掲載し、議員報告をさせていただきます。今後も皆様方の変らぬご支援とご指導をお願い申し上げます。

今年度の議会所属委員会等が決まる

5月11日の臨時議会で今年度の議会人事があり、下記の通り所属委員会がままりました。

☆常任委員会

「経済福祉常任委員会」に配属になりました。

本委員会は、福祉部・子育て健康部・産業振興部・環境部を所管しており、社会福祉、障害福祉、高齢福祉、子育てと現在の少子高齢化課題の施策や、農業、商工業の施策、ごみも含めた環境施策と所管も多くあり、ある意味生活をしていくうえで身近な施策であり慎重に議案審議してまいります。

市民の方が、将来にわたり安心して暮らせる生活環境の向上に頑張っております。

☆特別委員会

昨年に引き続き「まちづくり特別委員会」で今年度も委員長を務めます。

本委員会は、未来の安城市を考えた主要駅周辺における市街地整備の推進や土地利用の調和に配慮したまちづくりを大きなテーマに調査、研究活動をしており、とりわけ主要駅周辺における市街地整備は、再開発も含め将来ビジョンの構築も必要と進めております。

6月議会開催（6月1日開会～21日閉会）



平成30年6月第2回定例市議会は、6月1日から21日までの期間開催され、一般質問として議員12名が登壇しました。

また議案の内容は、条例の一部改正など11議案と、報告10件、諮問1件であり、合計22の案件について審議を行いました。

（概要は8月1日発行の「市議会だより」をご覧ください。）

【6月市議会の主な議案】

◎H30一般会計補正予算（保育園費2億569万円増）

- ・私立保育園等施設整備補助金（うち1億8,267万円は国から補助金）

◎工事請負契約の締結について（設計金額1億5千万円以上の契約）

- ・レジャープール非構造部材耐震化工事 ⇒ 3億6,676万円：㈱ナルセコーポレーション
- ・名鉄新安城駅橋上駅整備事業 ⇒ 30億6,600万円：名古屋鉄道㈱
- ・西海橋（根崎町）架替工事 ⇒ 2億2,852万円：極東興和㈱

◎人権擁護委員の選任同意議案 ⇒ 東明町：榎原真由美氏



「まなび」と考えよう vol.19

今回は、民間企業のスポーツチームを市民も応援する、安城市の「ホームチームサポーター事業」について考えてみたいと思います。企業は、自身のPR活動や社員の士気高揚などのため、スポーツの実業団チームを所有しています。本市に活動拠点のあるチームはソフトボール「デンソーのブライトペガサス」、バスケットボール「アイシン・エイ・ダブリュのAWウィングス」、軟式野球「ニッセイのGTRニッセイ」があります。

これらのチームを市民も応援したり、逆にチームは子供たちに指導してくれたり交流を深めることでスポーツ熱を高めようとするものです。公費を投入して、営利企業のスポーツチームを応援します。（H30予算は300万円です）



皆さんはどう考えますか？

もちろん節度ある予算が前提ではありますが、私は良い取組だと思います。

池浦町に隣接する市のソフトボール球場が7月1日にリニューアルオープンし、デンソーとトヨタ自動車の試合も行われました。新球場には最新の電光表示板も設置され、フルカラーで動画も写せます。来年から全国規模の大会も開催されますし、2026年のアジア大会のソフトボール会場もほぼ決まりです。

4月から6月の主な活動

★経済福祉常任委員会市内施設巡視

経済福祉常任委員会の施設巡視が、5月17日に市の施設等、5か所の視察を行い所管課より各施設の説明を聞きました。

○社会福祉法人相志会：介護複合施設こころくぼり

介護複合施設こころくぼりは、地域密着型特別養護老人ホーム（定員29人）認知症高齢者グループホーム（定員18人）看護・小規模多機能型居宅介護（登録定員18人）ショートステイ（短期入所生活介護：定員29人）デイサービスセンター（通所：定員30人）の介護複合施設で4月に開設した



コミュニティ空間



居室（窓の外は篠目中）



共同住宅室



浴室

○障がい者就労継続支援A型事業所㈱WS jobfamily（じょぶファミリー）

障がい者就労継続支援A型事業所は、通常の事業所に雇用されることが困難な障害者に対して就労の機会を提供するとともに、生産活動などの機会の提供を通じて、その知識及び機能の向上のために必要な訓練などを行う事業所です。

○子ども発達支援センター（あんステップ）

子ども発達支援センター（あんステップ）は、発達に心配や遅れのある子どもに対し、18歳まで継続して支援を行うため、現在は、保健センター、教育センター、社会福祉会館、療育センター、サルビア学園で行っていた発達に関する相談・療育支援を集約して行える施設で旧中央図書館を改修して7月7日に開所しました。



○安城産業文化公園デンパーク

安城産業文化公園デンパークは、昨年20周年を迎えたことから、改修を進めている。本年3月17日にオープンした風車の広場の木製遊具は国内最大級の高さ12mで森の中で木登りするような施設ができました。



○榎前工業団地東地区

榎前工業団地東地区は、中小企業向けの工場移転、拡張用地確保と共に企業の市外流出を防止するため現在整備を進めている。

